

1 外壁リフォームの設計

1-1 適用条件

4) 外壁防水・通気構法

- 本リフォーム工法は、原則として新規モエン、センターサイディングと既存外壁(※)または防水紙との間に通気層を設ける外壁通気構法によって施工し、二重防水の機構とすることを基本とします。

※建物の防水性能は既存建築物が負担します。既存外壁の防水補修が困難な場合は、防水紙を既存外壁と胴縁の間に施工し、防水性能を確保してください。

5) 胴縁の種類

- 金属胴縁15: RC造金属胴縁工法、S造ALC金属胴縁工法、RC造外断熱金属胴縁工法
金属胴縁15(一般部用、左右接合部用)を指定のアンカー・ビスで躯体に固定します。外断熱金属胴縁工法はベースディスクに専用ビスで固定します。
- 鋼製胴縁(現場調達品): RC造専用ブラケット工法
現場調達品の鋼製胴縁(材質・形状・サイズはP170参照)を専用ブラケットにビスで固定します。
- 木胴縁: RC造木胴縁工法、S造ALC木胴縁工法
スギ材またはそれと同等以上の強度を持つ乾燥木材で防腐処理したものを、指定のアンカー・ビスで固定します。

6) 使用可能なモエン、センターサイディング

				下地間隔	EX				モエンS ※2	モエンM・W		センター サイディング ※3
					21mm	18mm	16mm	16mm	18mm	14mm	14mm	各型による
					455×1820	455×1820	455×1820	455×3030	455×3030	455×3030	910×3030 1000×3030	各型による
RC造	MARC システム 金属胴縁 工法	横張り	留付金具EX	606以下 釘打施工 不可	○	○	○	○	○	×	—	○
			留付金具SP ロング金具		○	○	○	○	—	×	—	
		縦張り		—	—	—	○	—	×	×	○	
	MARC システム 外断熱 金属胴縁 工法	横張り	留付金具EX	500以下 釘打施工 不可	○	○	○	○	○	×	—	○
			留付金具SP ロング金具		○	○	○	○	—	×	—	
		縦張り		—	—	—	×	—	×	×	○	
	MARC システム 専用 ブラケット 工法 (外断熱 仕様含む)	横張り	留付金具EX	606以下 釘打施工 不可	○	○	○	○	○	×	—	×
			留付金具SP ロング金具		○	○	○	○	—	×	—	
		縦張り		—	—	—	×	—	×	×	×	
	木胴縁 工法	横張り		606以下 (モエンM・W 500以下)	○	○	○	○	○	○	—	○
縦張り		—	—		—	○	—	○	○	○		
S造ALC (挿入筋 構法)	MARC システム 金属胴縁 工法※1	横張り	留付金具EX	606以下 釘打施工 不可	○	○	○	○	○	×	—	○
			留付金具SP ロング金具		○	○	○	○	—	×	—	
		縦張り		—	—	—	○	—	×	×	○	
	木胴縁 工法	横張り		606以下 (モエンM・W 500以下)	○	○	○	○	○	○	—	○
縦張り		—	—		—	○	—	○	○	○		
S造ALC (ロッキン グ構法)	MARC システム 金属胴縁 工法※1	横張り	留付金具EX	606以下 釘打施工 不可	○	○	○	○	○	×	—	○
			留付金具SP ロング金具		○	○	○	○	—	×	—	
		縦張り		—	—	—	○	—	×	×	○	
	木胴縁 工法	横張り		606以下 釘打施工 不可	○	○	○	○	○	×	—	○
縦張り		—	—		—	×	—	×	×	×		

※1 金属胴縁15でのS造(ALC)リフォームの場合、ALCの厚みは100mmとなります。

※2 モエンSは建物高さ16m以下です。

※3 センターサイディングは、高さ16m以下かつ、耐風圧性能の安全性をご確認ください。商品により耐風圧性能が異なります。

注) モエンアート(アート下地含む)、モエン大壁工法は使用できません。